

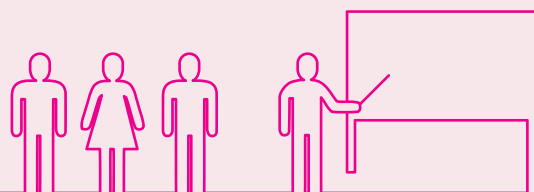
セミナー

# BLSO コース

Basic Life Support in Obstetrics ・ Advanced Life Support in Obstetrics

# ALSO プロバイダーコース

日本初の、災害対策としての ALSO・BLSO 開催 in 石巻



2012.9.15 sat \_ 16 sun

**会場** 石巻赤十字病院南病棟会議室

**主催** 東北大学東北メディカル・メガバンク機構

**共催** NPO 法人周産期医療支援機構、石巻赤十字病院、NPO 法人みやぎ産婦人科医療情報ネットワーク協議会、米日カウンシル (US-Japan Council) TOMODACHI イニシアチブ、石巻復興協働プロジェクト協議会

**URL** <http://www.megabank.tohoku.ac.jp/news/detail.php?id=119&c1=3>

**アクセス** ■JR 仙石線 (仙台-石巻間一部不通): 石巻駅からバス 15 分、タクシー 10 分。蛇田駅からタクシー 5 分。■高速バス: JR 仙台駅から石巻駅まで約 80 分。■自動車: 三陸自動車道・石巻河南 IC より 5 分。





**BLSO コース**

**ALSO プロバイダーコース**

## ALSO - Advanced Life Support in Obstetrics

ALSO とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。またプライマリケア医だけでなく産婦人科の研修医を対象とした実践的プログラムでもある。1991年に ACLS と ATLS に基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人が ALSO を考案した。1993年にコース権利は American Academy of Family Physicians (AAFP-米国家庭医学会) によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーが ALSO の受講を義務づけられている。また米国の家庭医レジデンシープログラムの内、78% が ALSO をプログラムに導入している。さらに ALSO コースは世界的に普及活動が行われており、2009年現在までに、50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上が ALSO コースを完了した。

コースは、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップである。筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースに含まれている。ALSO は LDR における産科の救急的対処を強調しているが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、患者-医師関係、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれている。プロバイダーコースは二日間。重要レクチャーは妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性の8つ。少人数グループによる重要ワークショップは肩甲難産、胎位・胎向異常、鉗子と吸引、分娩中の胎児監視、重要な症例の5つ。オプション・ワークショップは、会陰縫合、帝王切開、超音波検査、出産危機における両親への対処、そして新生児蘇生の5つ。プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は5年間有効の認証を受けることができる。プロバイダーコースの教官になることを希望する場合、一日間のインストラクターコースを受講しなければならない。

## BLSO - Basic Life Support in Obstetrics

主に病院前産科救急を想定して、ALSO の前段階の産科救急基礎コースとも言えるトレーニングコースが、BLSO コースである。BLSO は交通事故などの妊婦外傷を含む病院前の産科救急的対処を強調しており、特に産科救急に突然遭遇する可能性がある救急医、救急ナース、そして救急救命士を対象とした教育コースであると言える。コースは一日コース。少人数グループによる重要ワークショップは正常分娩、分娩第3期の処置、肩甲難産、産後大出血の対処、新生児の処置・蘇生法である。また筆記試験とマネキンによる実技試験がコースに含まれている。BLSO コースを受講し試験に合格した場合、参加者は AAFP と ALSO-Japan が認定する5年間有効の認証を受けることができる。

## お産に関わる医療人の教育の場として

日本では 2008 年 11 月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約 1,000 名が ALSO コースを修了した。現在あるいは近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わりたという志を持った人たちをトレーニングする場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。

## 災害にそなえるために

東日本大震災後、災害時でも安全なお産をしてもらうために、分娩に関わる医療者のスキルアップと医療プロバイダー拡充の必要性が指摘される。東北メディカル・メガバンク機構は今回、東日本大震災の被災地への地域医療支援の一環として、ALSO と BLSO を石巻市で開催する。この会場となる石巻赤十字病院は、東日本大震災で石巻圏合同救護チーム本部が置かれた場所である。

当日は石巻近辺の医療従事者が多く受講し、BLSO には救急士、救命医、保健師が、ALSO には助産師や診療所の医師が主な参加者となる。本実施は、災害医療・緊急医療の備えや人材育成としてなどの意義を持つ。また災害対策としての ALSO や BLSO の実施は、日本では今回が初めてであり、日米の官民パートナーシップ TOMODACHI イニシアチブによる支援により石巻で実施される。本プログラムは、救急時、災害時の分娩を安全に取り扱うための実践的トレーニングコースであり、今後日本各地で普及していくことを願ってやまない。